

大規模な火災が発生し、各地で津波が観測された 能登半島地震（2024年1月1日）

2024年1月1日16時10分、石川県能登地方においてマグニチュード7.6（暫定値）の地震が発生し、石川県の志賀町（しかまち）及び輪島市で震度7を観測したほか、能登地方の広い範囲で震度6以上の揺れを観測しました。

この地震により、多くの建物が倒壊するなどの被害があり、石川県輪島市では、地震直後に日本三大朝市の一つである輪島朝市で焼損棟数約240棟、焼失面積約49,000㎡に及ぶ火災が発生しました。また、東日本大震災以来となる大津波警報が石川県能登に対して発表され、一部地域で津波が到達しました。地震の規模を示すマグニチュードは7.6（暫定値）で、阪神・淡路大震災や熊本地震よりも規模が大きく、多くの尊い人命が奪われました。

本地震を含めた一連の地震活動は、「令和6年能登半島地震」と称されています。

名称：令和6年能登半島地震
発生日時：令和6年1月1日 16時10分
震源：石川県能登地方（北緯37.5度、東経137.3度、深さ16km（暫定値））
地震規模：マグニチュード7.6（暫定値）
最大震度：震度7（石川県志賀町、輪島市）

○被害状況



陥没し寸断された道路



建物が倒壊している様子

人的被害	死者数：592人、負傷者数：1,395人
建物被害	全壊：6,520棟、半壊：23,600棟、一部破損：134,520棟、 床上浸水：6棟、床下浸水：19棟
火災	発生件数：17件
ライフライン	電気：約4万4,160戸停電、都市ガス：148戸供給支障 水道：約13万6,440戸断水

出典：内閣府HP